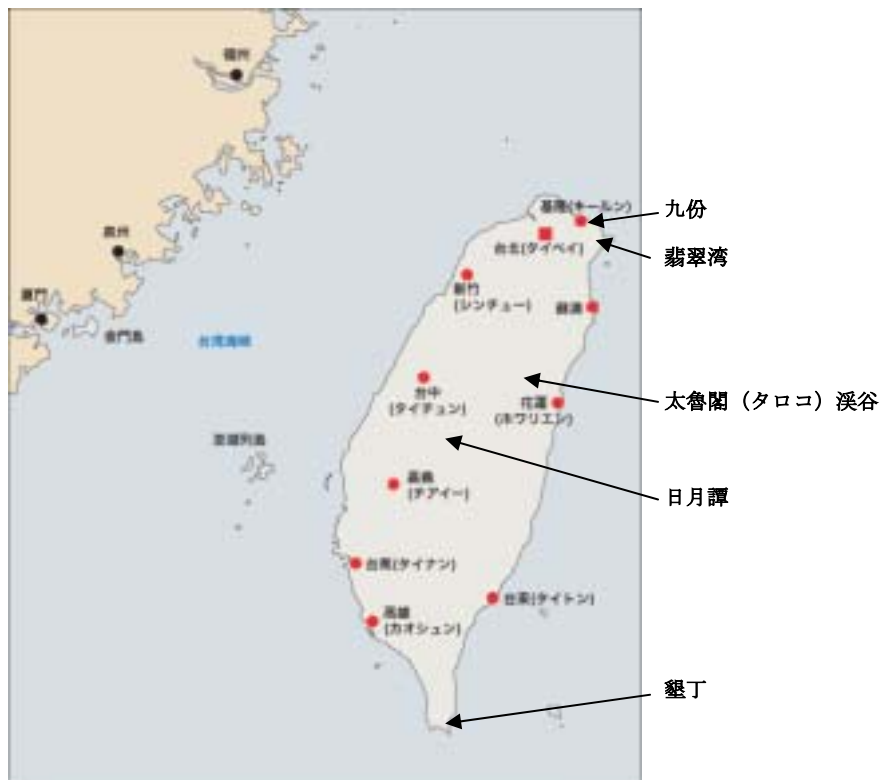


2009・9 台湾旅行印象記

中村嘉孝



久しぶりのビジネスクラス

9月14日～19日の日程で、阪急交通社のグループツアーに家内と二人で参加して、台湾島をほぼ一周してきました。コース名は「キャセイパシフィック航空ビジネスクラスで行く 優雅な台湾 10 都市周遊 6 日間」という長い名前で、料金は一人 104,800 円と手ごろな値段でした。このごろグループ旅行代金が全般に安くなっている感じです。

成田・台北往復でしたが、久しぶりのビジネスクラスを楽しむことができました。最近のビジネスクラスの座席は、航空会社により機材により相違がありますが、リクライニングの角度も大きく快適性が高くなっています。

でも一度グレードアップすると、次回の旅行でエコノミーを選ぶのが辛くなりそうです。

台湾 10 都市

今回廻った 10 都市とは、台中・日月潭・台南・高雄・墾丁・台東・太魯閣・翡翠湾・九份・台北の 10 か所を指します。台湾島の外枠をぐるりと一周したということになりましょう。

日々の日程に基づいて書き出すと長くなるので、とくに印象に残ったことについて、記述します。

有能な女性ガイド

今回の旅行では、成田から日本人の添乗員は同行せず、台北空港（桃園国際空港＝旧蒋介石空港）でガイドの莊彩玉女史（65歳前後？）の出迎えを受け、彼女が6日間19名のツアー客の面倒をみてくれたのですが、阪急が任せただけあって、なかなかのツワモノでした。

台湾事情全般に詳しく、バスでの移動中、観光中、エネルギーにしゃべり続け、こちらも6日間で一応の台湾通になった気分になりました。

この間、莊女史は時間の調整・ホテルの部屋割・レストランとの打ち合わせなどよどみなく、いやはや見事な活躍ぶりでした。

自ら、福建系本省人であると名乗り、民進党支持者で台湾独立を支持している。陳水扁前総統の裁判は政治的な偏向だ。陳水扁が海外に資金を蓄えたのは将来の台湾独立のためだった。現在の馬政権は中国の顔色ばかりうかがっている。などなど堂々と自説を展開していました。

道教寺院が多い

台湾の宗教施設で道教寺院がとくに目立つ存在であることを、今回の旅行で初めて知りました。茶系の色彩を中心に豪華な建物が各地にある。

寺院によっては、仏教と混在しているものもある。

写真（下）は高雄市にある道教寺院です。



「宮濟慈（上）・帝大生保（下）」
と命名された道教寺院

印象的な観光地
寶覺禪寺（台中）

1928 年建立。巨大な弥勒菩薩(下の写真) が有名。日本統治時代に没した邦人
14,000 人の墓地や日本とゆかりの記念碑がある。



日月潭

よくご存じの方々もおられるでしょう。
文武廟には武の神関羽ほかと文の神孔子が祭られています。
日月潭は太陽の形と月の形の湖がつながっているとしてこの名がついた。



文武廟



日月潭

赤嵌楼（台南）

17 世紀にオランダが建てた要塞。鄭成功がオランダを追い出し、承天府（政庁）とした。その後地震で壊れ修復を重ね、中国的建造物となっている。



延平郡王祠（台南）

鄭成功を祀る祠。

ガイドの荘女史は、鄭成功は母親が日本人で、明の再興に尽くした人物として、おおいに熱弁をふるった。



墾丁

台湾最南端のガランピ灯台。

1871 年（明治 4 年）沖縄・宮古島の漁民 54 名が牡丹社地区の先住民に殺され、日本の台湾出兵のきっかけとなった牡丹社事件ゆかりの地。



台風 8 号の爪痕

8 月上旬、台湾南部を襲った台風 8 号の爪痕が、墾丁→台東の間で見られた。河川に流木がうず高く滞留していた。自動車道路の一部が崩壊したらしく、補修中だった。

高雄付近では、台風の被害地は山奥とのことで、影響は見られなかった。

太魯閣（タロコ）溪谷（花蓮県）

かなり規模の大きな溪谷。将来、世界自然遺産になりうる景勝地。



九份（台北県）

日本統治時代に金鉱脈が発見され栄えた場所。金はもう採れない。今ではレトロな街として有名。ガイドは台湾のアメヤ横町と言っていたが、ベニスの細い道の中国版とも形容できる。左右に商店が軒を連ね、台湾産品を売っている。映画「非情都市」はここで撮影されたとのこと。



台北市散見

中正記念堂

別名：台湾民主記念館

故蒋介石総統（蔣中正）を記念して 1980 年に竣工。

民進党政権時代は「台湾民主記念館」と改名するなど、内部の表現を改めたり、蒋介石総統の座像のある部屋（3 階）は閉鎖していたとのこと。現在の国民党政権は「中正記念堂」を正式呼称とした。

蒋介石のためにこのような豪華な建造物を建てたが、今後どうなるのだろうか？

座像は中国大陸の方角を向いている。

ちなみに蒋介石・蒋経国および夫人たちのお墓は将来大陸に作りたいとの希望で、いまだに台湾にはないそうです。

遺体はそのままどこかに安置されているとのこと。



故宮見学

北京の故宮の文物と比べ、はるかに絢爛豪華な展示品に圧倒されました。

忠烈祠見学 儀仗兵の交代風景が見もの。

終わりに

豊富な果物・美味しい食事

バナナ・マンゴー・パパイヤ・シャカトウなどトロピカルフルーツが道路を挟んであちこちで栽培されていた。台中で買ったマンゴーはマンマルと大きく、味も抜群。サトウキビ畑もよく見られた。食事は全部台湾料理を中心とする中華料理でしたが、味も淡白で日本人向きでした。ビールはどこへ行っても「台湾啤酒」だけで、ほかのブランドもあるのかどうか、聞きそびれました。

(2009・9・21記)